

2024年度
(令和6年度)

紋別市における景気動向調査
〈第1四半期〉

報 告 書

紋別商工会議所

目 次

I. 調 査 要 領

1. 調査時点及び調査対象期間	1
2. 調査対象	1
3. 回収状況	1

II. 概 況

1. 全体の動き	2
(1) 今期の業況	2
(2) 部会別の動向	3
2. 今期の動向	
(1) 今期の売上高・生産高	6
(2) 今期の採算	7
(3) 今期の資金繰り	8
(4) 今期の在庫水準	9
(5) 今期の借入金の金利水準	9
(6) 設備投資の実施状況	10
3. 来期の見通し	
(1) 来期の業況見通し	10
(2) 来期の売上高・生産高見通し	11
(3) 来期の資金繰り見通し	11

III. 各 指 標

1. 各指標	12
--------	----

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1)調査時点 2024年7月8日

(2)調査対象期間 2024年4月～6月期の実績および2024年7月～9月期の見通しについて調査した。

2. 調査対象

当所会員企業を対象に、商業+食品業部会、水産業部会、機械工業部会、建設業部会、観光・サービス業+諸業部会より各30社、計150社を抽出し郵送により調査した。

3. 回収状況

	対象企業数	回答企業数	回答率
商業+食品業部会	30社	12社	40.0%
水産業部会	30社	18社	60.0%
機械工業部会	30社	18社	60.0%
建設業部会	30社	23社	76.7%
観光・サービス業+諸業部会	30社	20社	66.7%
合計	150社	91社	60.7%

注) 本調査結果の中で、「D・I」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値（景気動向指数）を示す。

Ⅱ. 概 況

－業況はマイナスのまま停滞。来期は若干回復の見込みも－

1. 全体の動き(業況)

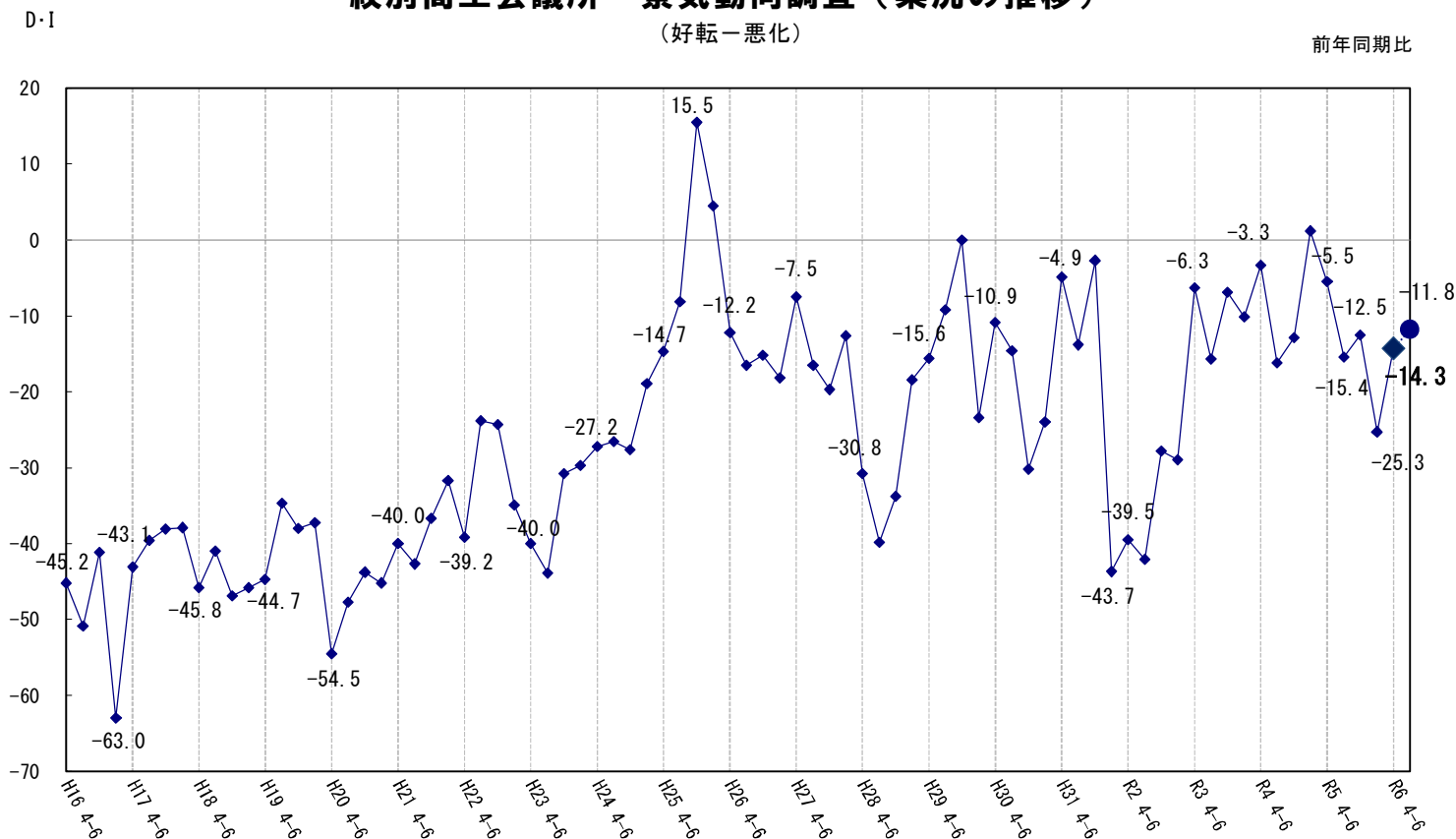
四半期毎に実施している中小企業景況調査の**今期(2024(令和6)年4月～6月)の全業種平均DI値**(「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差)は、**前年同期比では▲14.3**と前年同期(R5.4～6月)の▲5.5より**8.8ポイントの悪化**となりました。

部会別で前年同期(2023第1四半期)と比較すると、商業・食品業[前年DI値▲20.0→**今期▲41.7**]、水産業[前年DI値▲17.6→**今期▲16.7**]、機械工業[前年DI値▲12.5→**今期▲5.5**]、建設業[前年DI値13.1→**今期▲34.8**]、観光・サービス業・諸業[前年DI値0.0→**今期20.0**]となりました。

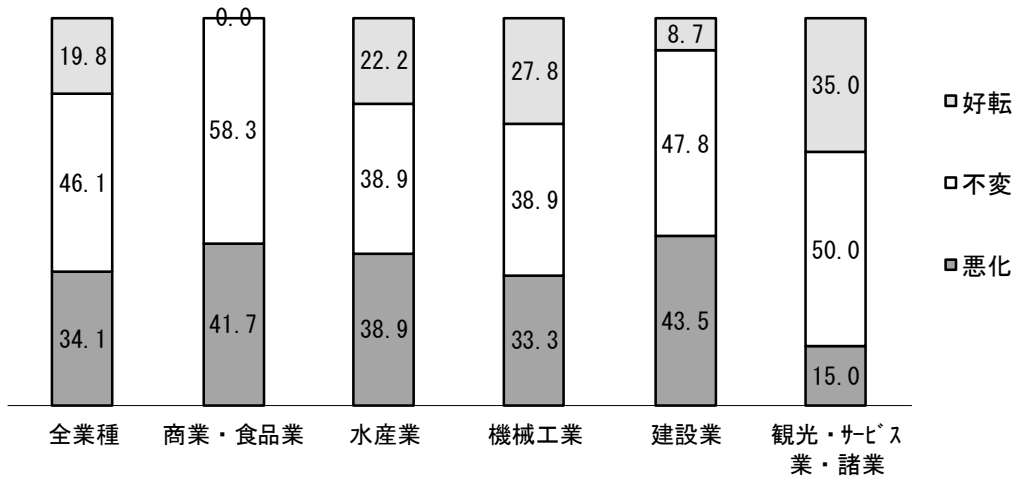
新型コロナウイルスが5類感染症に引き下げられてから約1年が経ち、経済活動がより活発になった結果、歓迎会やゴールデンウィーク等の季節需要が増え、飲食業を中心としたサービス業で好転を示す回答が多く寄せられました。しかし、商業・食品業では、物価高の影響から好転を示す回答がなく、建設業でも前期に引き続き、原材料価格の上昇や従業員の確保難などにより大幅な業況の悪化につながっています。

来期(2024年7月～9月)の業況判断DIは▲11.8(今期比)と2.5ポイント回復の見通しとなっています。

紋別商工会議所 景気動向調査(業況の推移)



今期の業況（前年同期比）



全業種の経営上の問題点としては、「原材料・材料価格の上昇」、「人件費の増加」、「従業員の確保難」を訴える声が多くなっています。

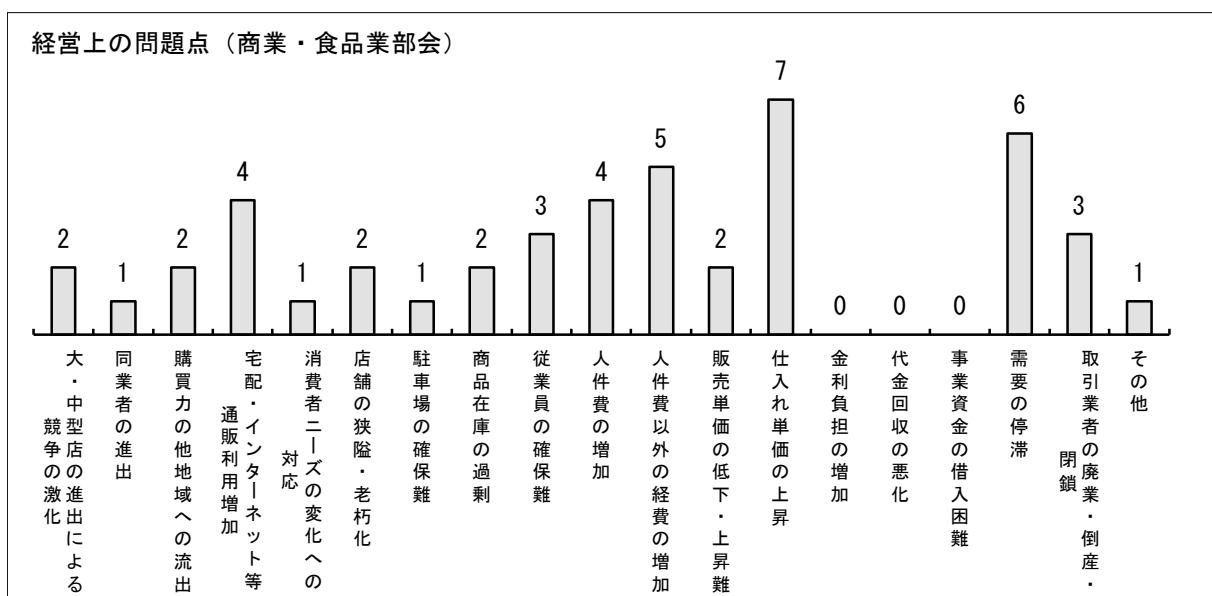
部会別の動向

【商業・食品業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲41.7（前年DI値▲20.0、来期見通し▲41.7）〕

業況DI値（前年同期比）は、21.7ポイントの大幅な低下となりました。輸送費や仕入れ価格の上昇などが原因で物価の上昇が続いており、買い控えなどの影響から業況の大幅な悪化につながっています。来期は今期と同ポイントで推移する見通しとなっており、厳しい状況が続く見込みです。経営上の問題点は、「仕入れ単価の上昇」、「需要の停滞」を訴える声が多くなっています。

《業界の問題点等》

- ・海外同業者の進出、価格変動が激しい。（金属販売）

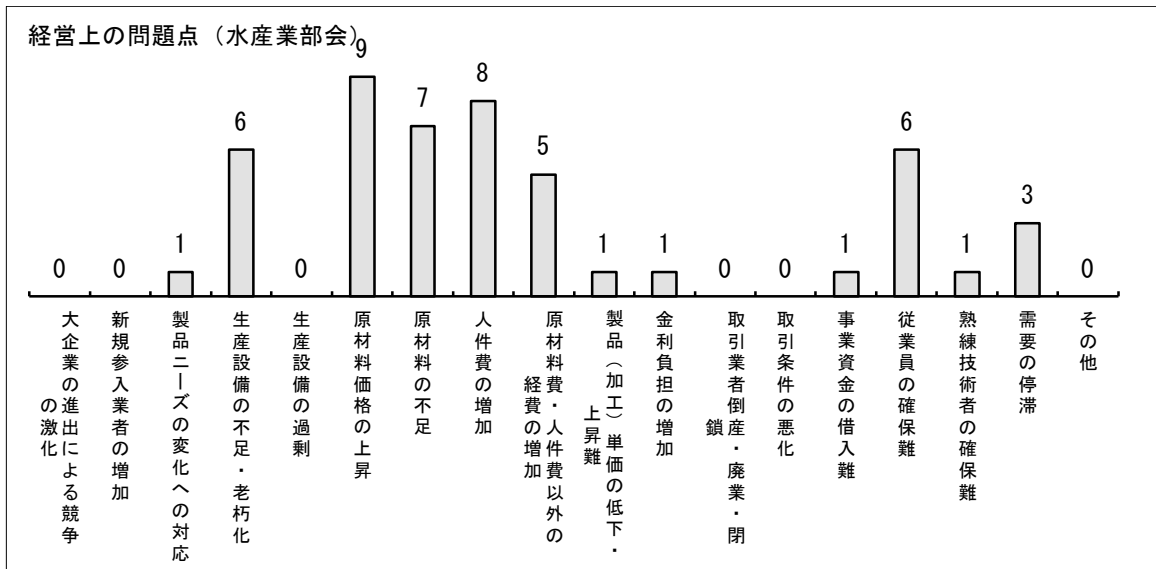


【水産業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲16.7（前年DI値▲17.6、来期見通し▲21.4）〕

業況判断DI値（前年同期比）は、0.9ポイント回復となりました。ホタテを始めとした海産物の需要は依然として高いものの、原材料や燃料価格の高騰、輸送費の上昇から業況悪化が続いています。経営上の問題点としては「原材料価格の上昇」「原材料の不足」「人件費の増加」を訴える声が多く寄せられています。来期の見通しは、水産業の最盛期を迎える時期ではありますが、▲21.4と悪化する予測となっています。

《業界の問題点等》

- ・水道光熱費の高騰にかなり影響を受けている。（加工食品小売業）
- ・市の人口減少により、将来、事業の確保が困難になる。外国人雇用を増やすか、ロボットを入れるかの選択になってくるので、行政より補助が必要かと思われる。（水産食料品製造業）

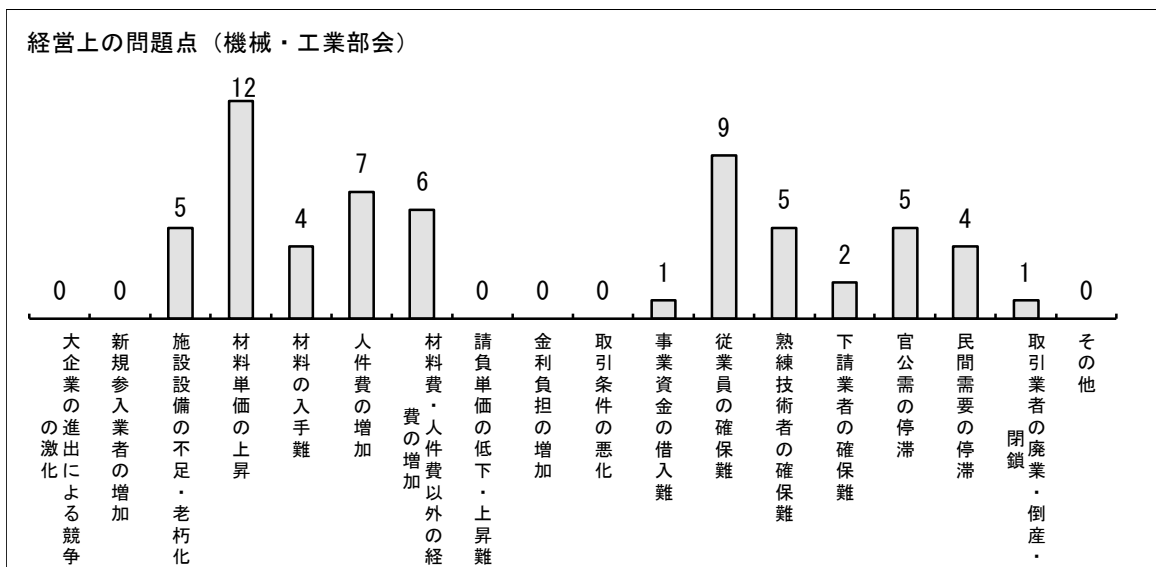


【機械・工業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲5.5（前年DI値▲12.5、来期見通し▲11.1）〕

業況判断DI値（前年同期比）は、前年DI値から7.0ポイント回復となりました。部会全体を通して、エネルギー価格の上昇が収益を圧迫している状況ですが、船の整備修理業、自動車販売業などの業種で好調を示す回答が寄せられました。来期は▲11.1と悪化する見通しです。経営上の問題点は「材料単価の上昇」「従業員の確保難」を訴える声が多く寄せられています。

《業界の問題点等》

- ・問題点は多少つきものですが、今回は特別ありません。
- ・自動車販売・修理業界は整備士の高齢化が進んでおり、若年層を募集しても厳しく、小中高校生へ自動車業界に関心を持ってもらえる方法・対策が必要かと思えます。（自動車販売業）

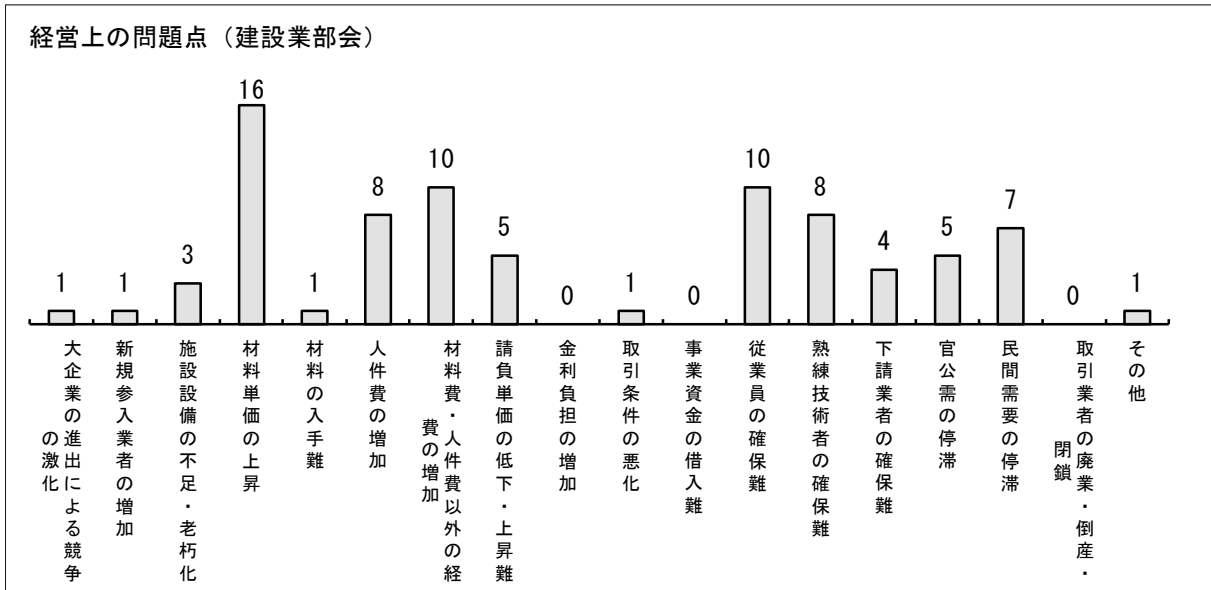


【建設業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲34.8（前年DI値13.1、来期見通し▲4.3）〕

業況判断DI値（前年同期比）は、47.9ポイントの大幅な悪化となりました。材料単価やエネルギー価格の上昇など、懸念材料は他業種と同様ではありますが、土木、建築、電気、板金、塗装とほとんどの業種で悪化を示す回答が寄せられています。来期は▲4.3とマイナスの値ではありますが、回復する見通しとなっています。経営上の問題点は「材料単価の上昇」が突出して多く寄せられています。

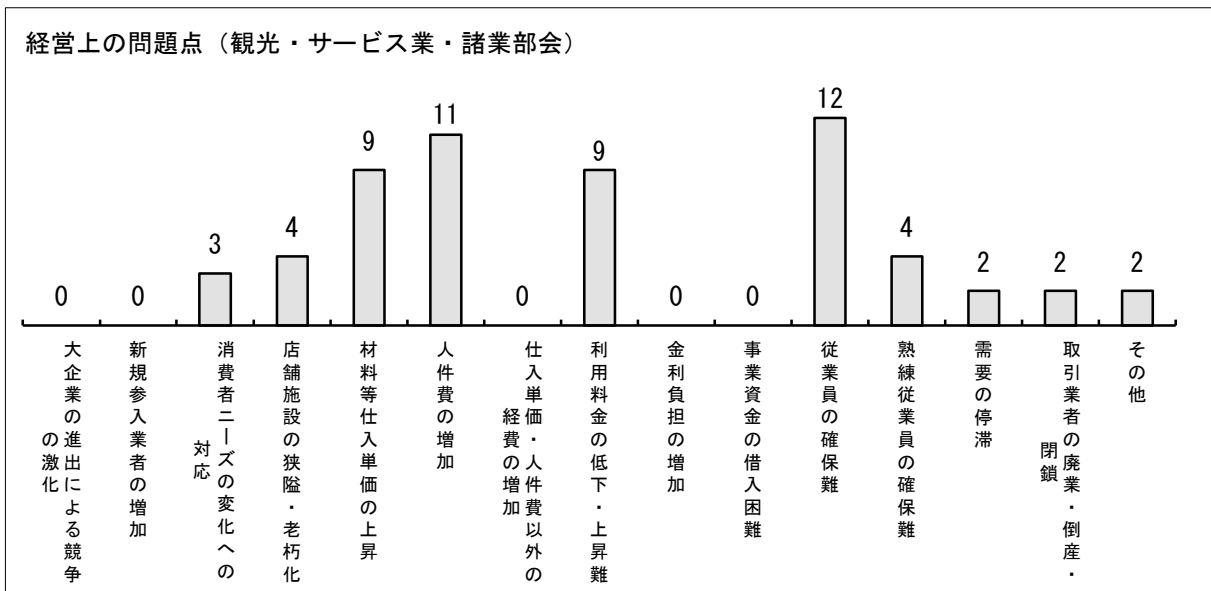
《業界の問題点等》

- ・冬期間の仕事不足（土木工事）
- ・下請業者（特に交通誘導員）の請け手がいない（土木工事）
- ・人材確保が大変（管工事）
- ・地元業者より、ハウスメーカーを目にすることが多くなったような気がする。（電気工事）



【観光サービス・諸業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）20.0（前年DI値0.0、来期見通し5.5）〕

業況判断DI値（前年同期比）は20.0ポイント回復し、20.0となりました。新型コロナウイルスが5類感染症に移行してから約1年が経ち、交流人口が増加していることが伺え、飲食業や観光業で好転を示す回答が寄せられました。来期は5.5とプラスの値ではありますが、今期ほどの大幅な業況回復にはならない見通しです。経営上の問題点としては、「人件費の増加」「従業員の確保難」を訴える声が多く寄せられています。



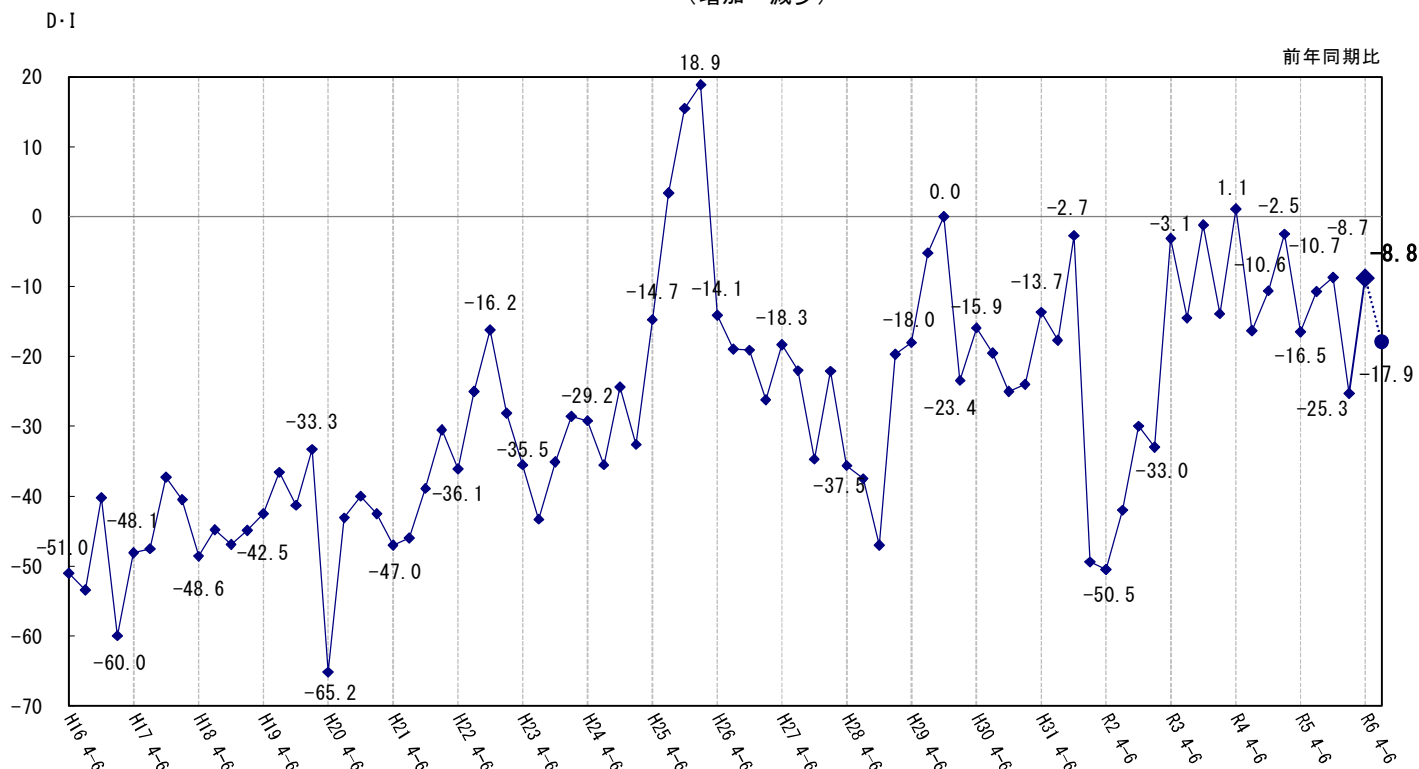
2. 今期の動向

(1) 今期の売上高・生産高

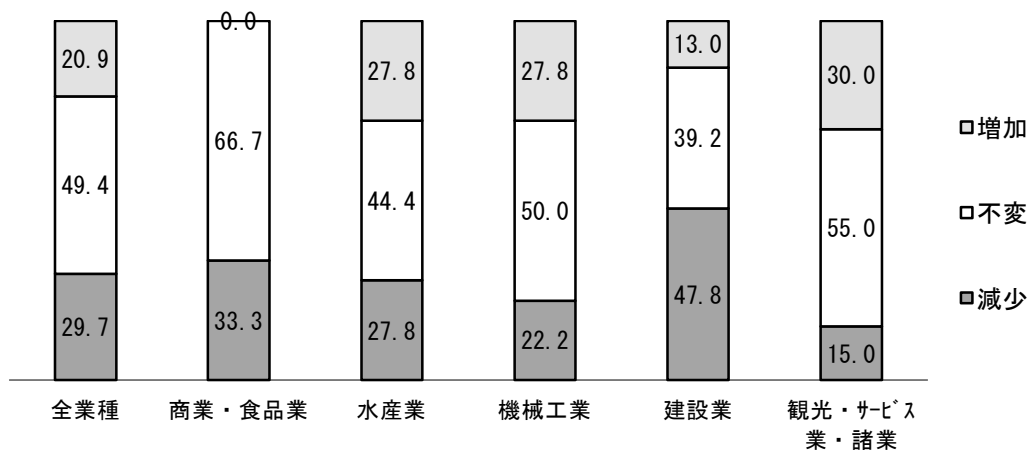
【前年同期比】（令和5（2023）年4月～6月期の水準と比較した今期の売上高）

売上高・生産高推移（全業種平均D・I）

（増加－減少）



今期の売上高・生産高（前年同期比）



全業種平均でDI値▲8.8〔前年同期（令和5年4～6月期1.1）より9.9ポイント悪化〕

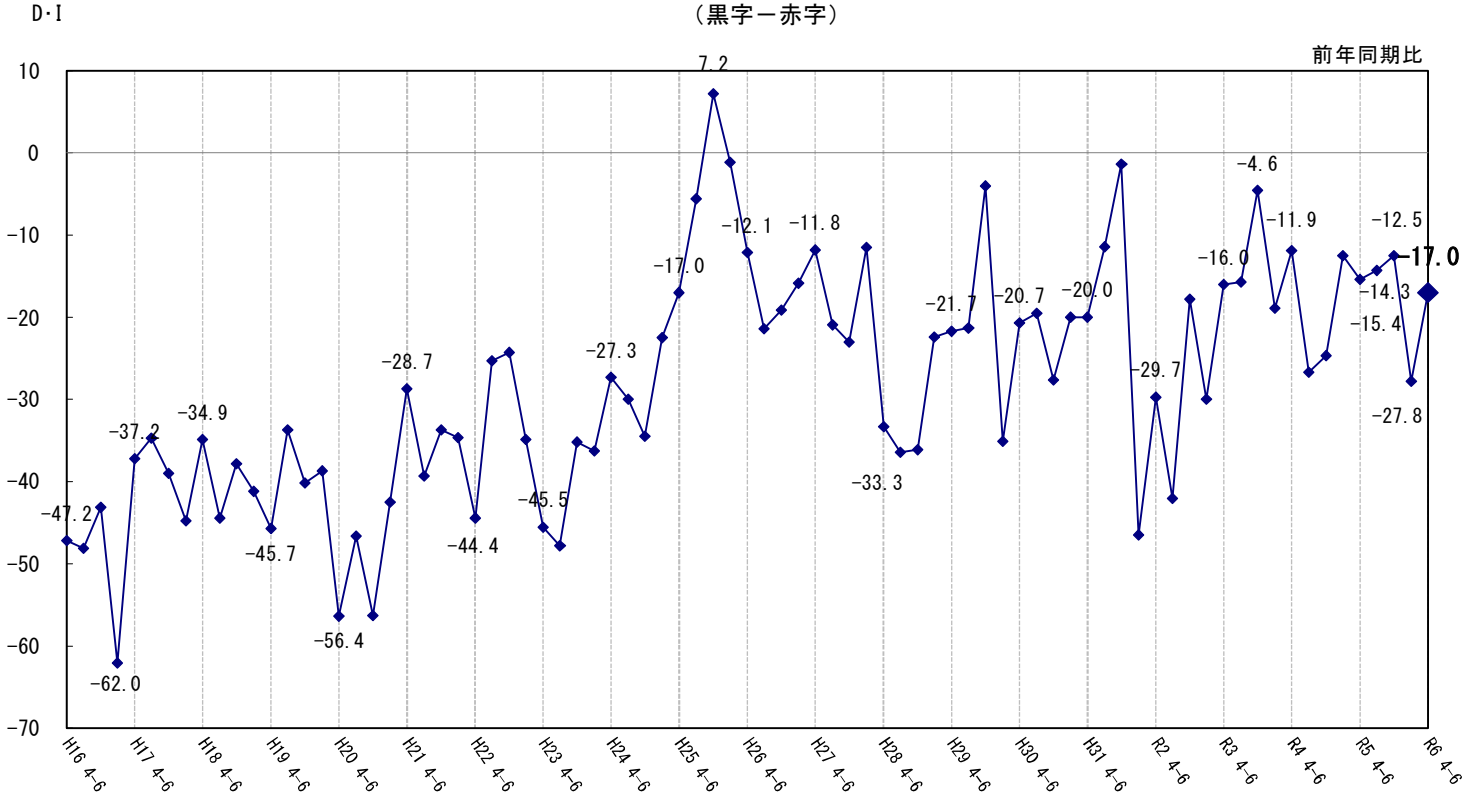
〔部会別DI値〕
 商業・食品業〔前年▲13.4→▲33.3〕、水産業〔前年▲41.1→0.0〕
 機械工業〔前年▲31.2→5.6〕、建設業〔前年8.7→▲34.8〕
 観光・サービス業〔前年▲15.0→15.0〕

(2) 今期の採算

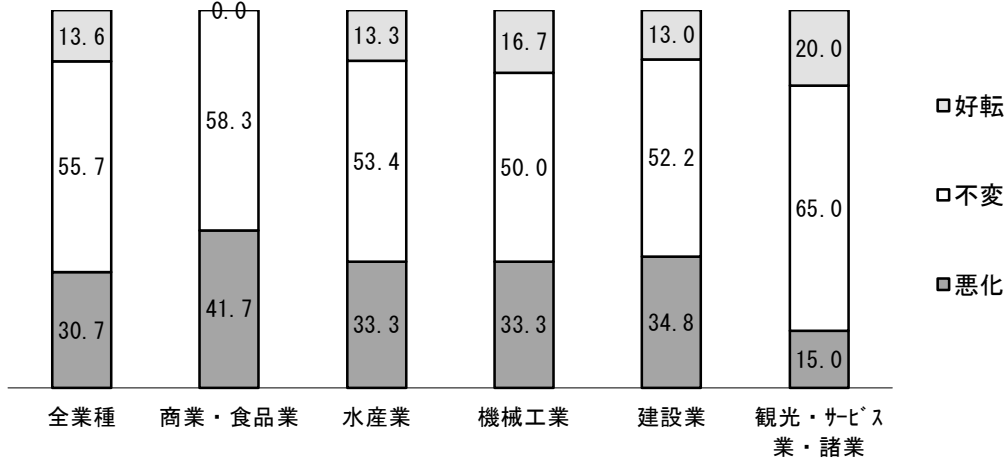
【前年同期比】（令和5（2023）年4月～6月期の水準と比較した今期の採算水準）

採算推移（全業種平均D・I）

（黒字＝赤字）



今期の採算（前年同期比）



全業種平均でDI値▲17.1〔前年同期（令和5年4～6月期▲15.4）より1.7ポイント悪化〕

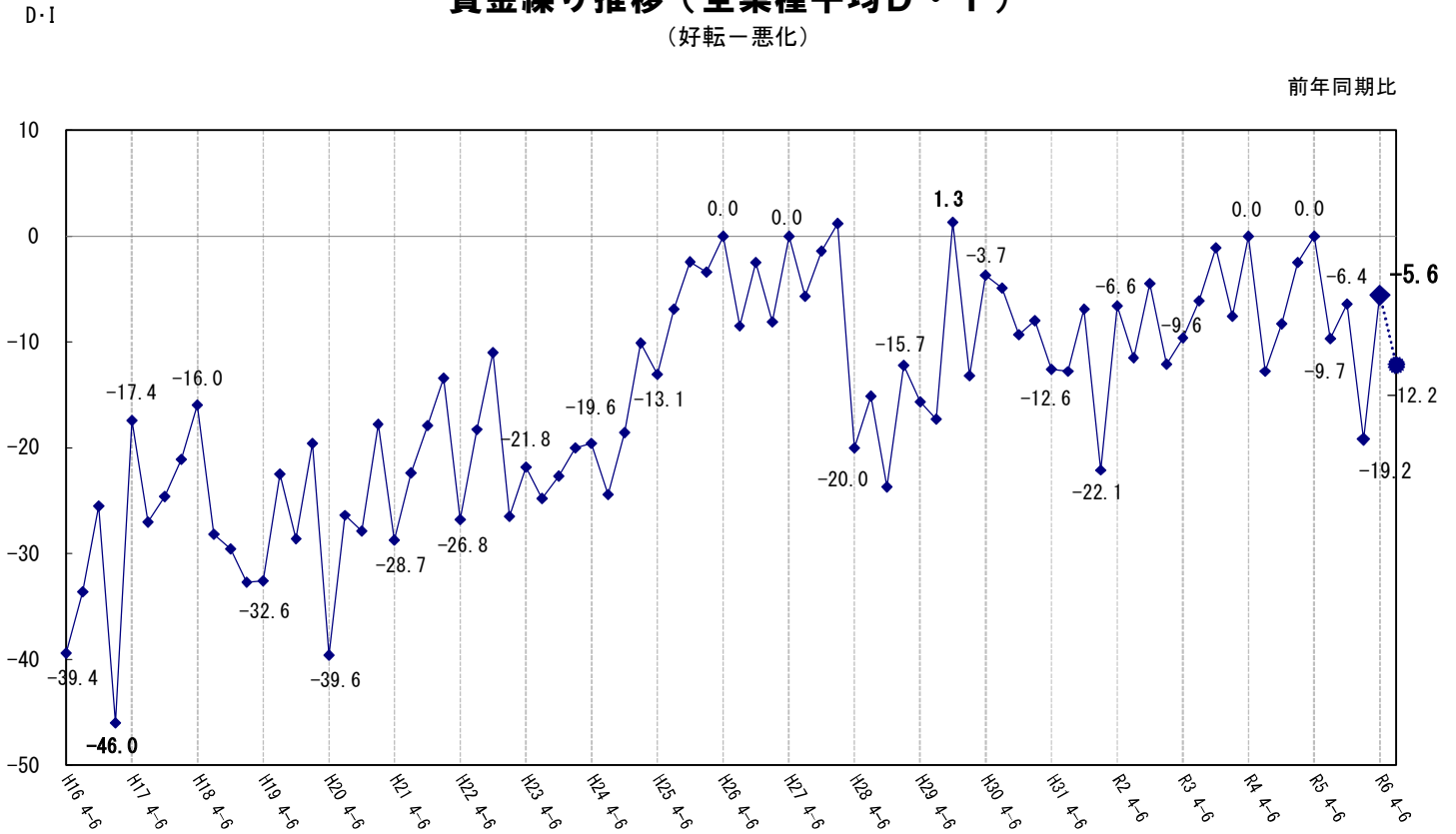
〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前年▲20.0→▲41.7〕、水産業〔前年▲35.3→▲20.0〕
 機械工業〔前年▲37.5→▲16.6〕、建設業〔前年8.7→▲21.8〕
 観光・サービス業〔前年▲5.0→5.0〕

(3) 今期の資金繰り

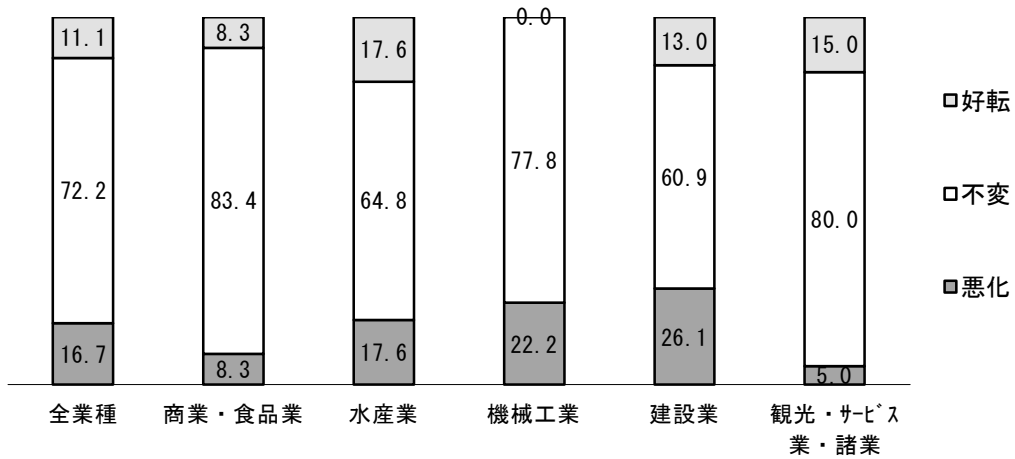
【前年同期比】（令和5（2023）年4月～6月期の水準と比較した今期の資金繰り）

資金繰り推移（全業種平均D・I）

（好転－悪化）



今期の資金繰り（前年同期比）



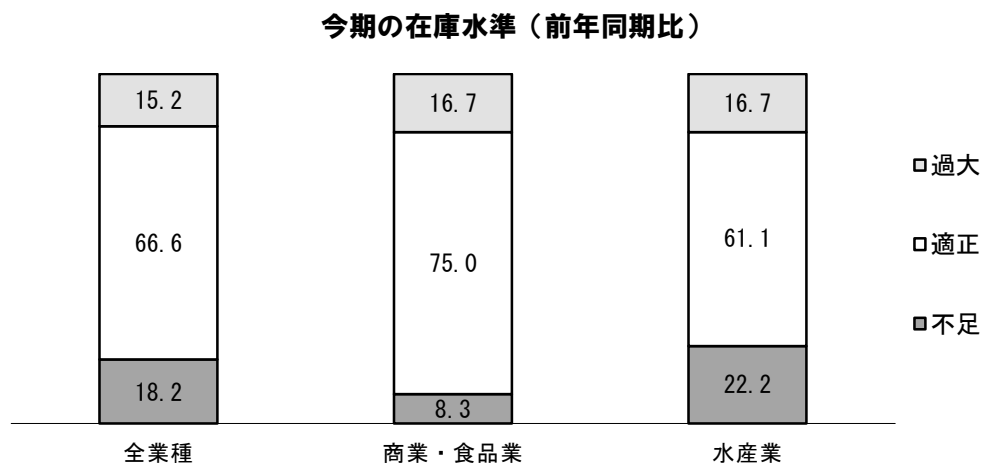
全業種平均でDI値 ▲5.6〔前年同期（令和5年4～6月期0.0）より5.6ポイント悪化〕

〔部会別DI値〕

商業・食品業〔前年▲31.6→0.0〕、水産業〔前年18.7→0.0〕
 機械工業〔前年5.6→▲22.2〕、建設業〔前年4.7→▲13.1〕
 観光・サービス業〔前年5.8→10.0〕

(4) 今期の在庫水準

【前年同期比】（令和5（2023）年4月～6月期の水準と比較した今期の在庫水準）

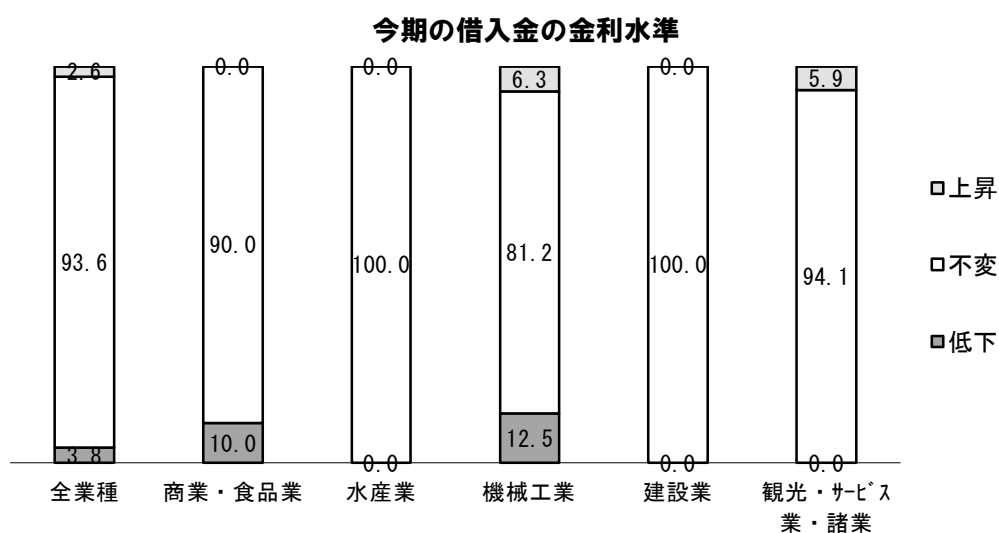


全業種平均でDI値▲3.0〔前年同期（令和5年4～6月期▲3.2）より0.2ポイント上昇〕

〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前年▲6.7→8.4〕、水産業〔前年0.0→▲5.5〕

(5) 今期の借入金の金利水準

【前年同期比】（令和5（2023）年4月～6月期の水準と比較した今期の借入金の金利水準）

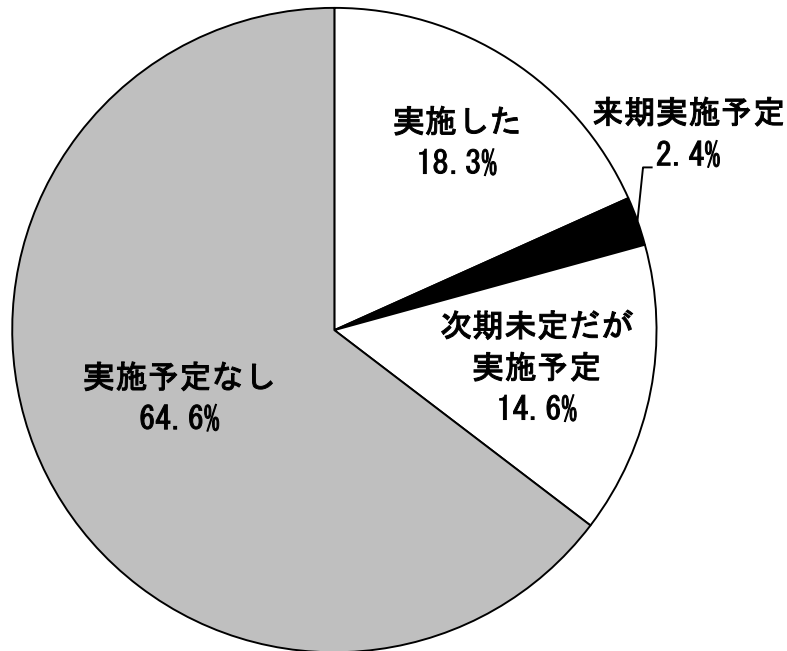


全業種平均でDI値▲1.2。商業食品業▲10.0、水産業0.0、機械工業▲6.2、建設業0.0、観光サービス業5.9。

(6) 設備投資の実施状況

今期の店舗・社屋・工場等への設備投資実施状況について

設備投資の実施状況

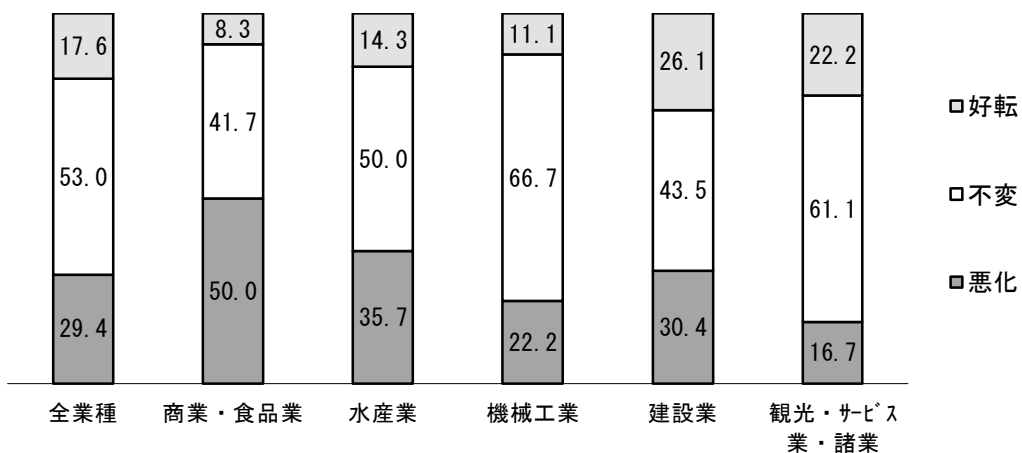


3. 来期の見通し

(1) 来期の業況

【今期比】（令和6（2024）年4月～6月期の水準と比較した来期の業況見通し）

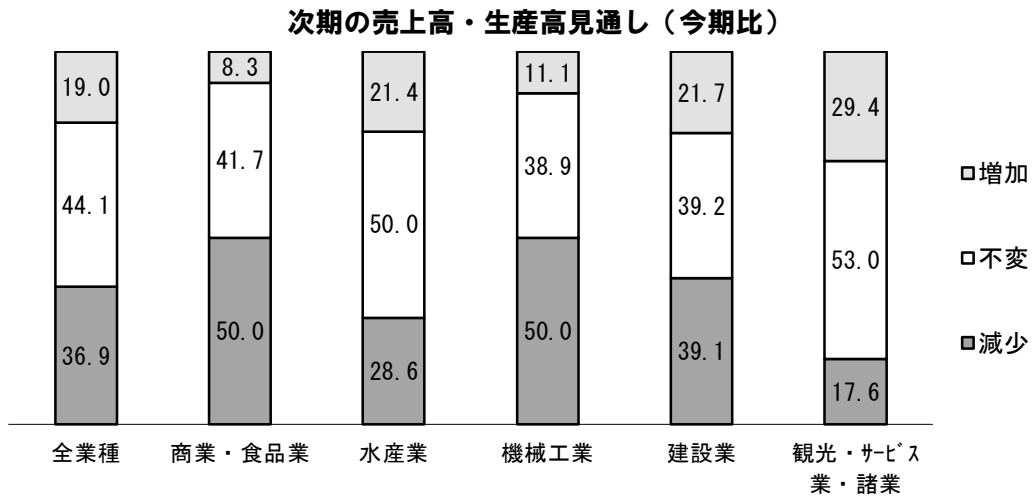
次期の業況見通し（今期比）



全業種平均DI値▲11.8〔今期の業況（前年同期比▲16.5）より4.7ポイント回復の見通し〕

(2) 来期の売上高・生産高

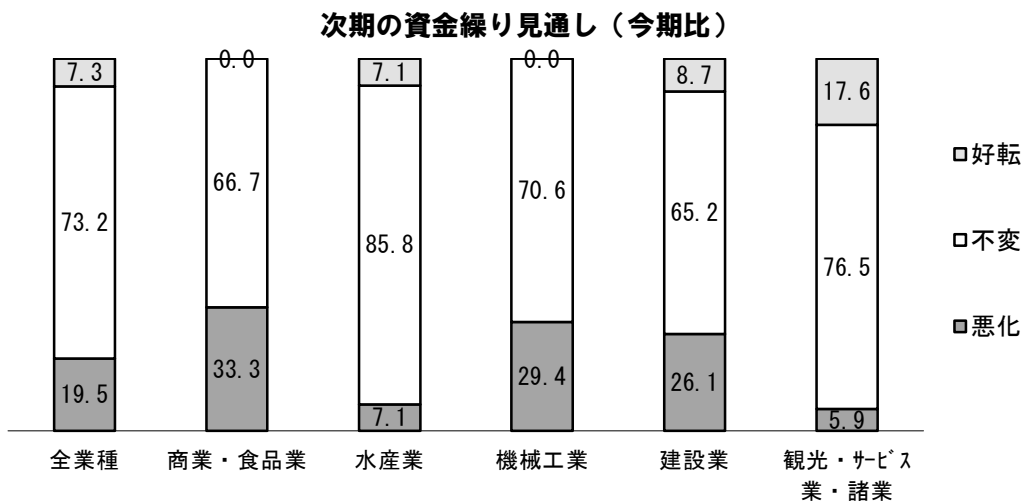
【今期比】（令和6（2024）年4月～6月期の水準と比較した来期の売上高・生産高見通し）



全業種平均 DI 値▲17.9〔今期の売上高・生産高（前年同期比▲15.4）より 2.5 ポイント悪化〕

(3) 来期の資金繰り見通し

【今期比】（令和6（2024）年4月～6月期の水準と比較した来期の資金繰り見通し）



全業種平均 DI 値▲12.2〔今期の資金繰り（前年同期比▲9.1）より 3.1 ポイント悪化の見通し〕

Ⅲ. 各 指 標

		全 体	商 業 食 品 業	水 産 業	機 械 工 業	建 設 業	観 光 サ ー ビ ス ・ 諸 業
業況判断 D・I	今期実績	▲14.3	▲41.7	▲16.7	▲5.5	▲34.8	20.0
	来期見通し	▲11.8	▲41.7	▲21.4	▲11.1	▲4.3	5.5
売上高・ 生産高 D・I	今期実績	▲8.8	▲33.3	0.0	5.6	▲34.8	15.0
	来期見通し	▲17.9	▲41.7	▲7.2	▲38.9	▲17.4	11.8
在庫 D・I	今期実績	▲3.0	8.4	▲5.5	---	---	---
	来期見通し	---	---	---	---	---	---
採算 D・I	今期実績	▲17.1	▲41.7	▲20.0	▲16.6	▲21.8	5.0
	来期見通し	---	---	---	---	---	---
資金繰り D・I	今期実績	▲5.6	0.0	0.0	▲22.2	▲13.1	10.0
	来期見通し	▲12.2	▲33.3	0.0	▲29.4	▲17.4	11.7
借入金 金利水準 D・I	今期実績	▲1.2	▲10.0	0.0	▲6.2	0.0	5.9
	来期見通し	---	---	---	---	---	---

※借入金金利水準 D・I 値のプラス値については、借入金利が上昇したと感じた回答が多い時にプラス値で表示されます。